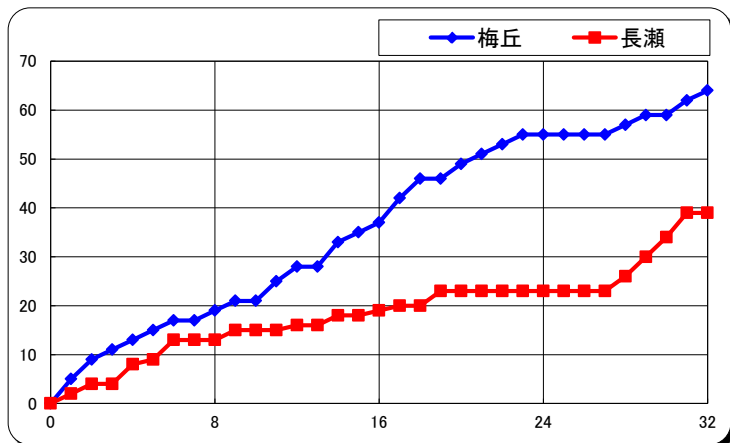




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

【得点経過】



大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 13:30																
コート	T Aコート 第4試合																
カテゴリー	男 予選リーグE																
主審	竹島 則夫 (高知)																
副審	高橋 範久 (香川)																
Team A		Team B															
梅丘	64	39															
東京		大阪															
○		●															
	<table border="1"> <tr><td>19</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>6</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>4</td></tr> <tr><td>9</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	19	1st	13	18	2nd	6	18	3rd	4	9	4th	16		OT		
19	1st	13															
18	2nd	6															
18	3rd	4															
9	4th	16															
	OT																

【BOXスコア】

Team A		梅丘					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	大島 岳晃	✓	0	0	0	0	1
5	井上宗一郎	×	23	0	11	1	2
6	菅野 恵登	✓	8	2	1	0	4
7	澤田 将影	✓	0	0	0	0	1
8	相原アレクサンダー学	×	0	0	0	0	1
9	八村 阿蓮	×	11	0	5	1	2
10	塚本 舞生	×	0	0	0	0	0
11	瀧 稜太	×	3	0	1	1	3
12	高阪 康平	✓	2	0	1	0	0
13	至田 伊吹	✓	5	1	1	0	0
14	池上 千馬	✓	0	0	0	0	0
15	碓井 真吾	✓	2	0	1	0	0
16	浅見 晴	✓	10	0	5	0	2
17	井上 蔵人	✓	0	0	0	0	0
18	山田 遥陽	✓	0	0	0	0	0
監督	染谷 久						0
コーチ	山口 将広						0
合計			64	3	26	3	16

Team B		長瀬					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	高岡圭汰朗	×	14	0	3	8	2
5	安原 亘祐	×	4	0	2	0	0
6	白原 悠雅	×	2	0	1	0	0
7	谷口 夏樹	×	13	0	6	1	2
8	久保田綾人	×	2	0	1	0	1
9	井本 博文	✓	0	0	0	0	1
10	雲井 翔大	✓	4	1	0	1	0
11	小林 優人	DNP	0	0	0	0	0
12	足立 大翔	DNP	0	0	0	0	0
13	作田 航基	DNP	0	0	0	0	0
14	山水 隆輝	DNP	0	0	0	0	0
15	高月 怜	DNP	0	0	0	0	0
16	瓦谷 文琉	DNP	0	0	0	0	0
17	長尾 匠	DNP	0	0	0	0	0
18	横山慎太郎	DNP	0	0	0	0	0
監督	原辺 孝征						0
コーチ	石川 文女						0
合計			39	1	13	10	6

【戦評】

190cmを超える大型センター2枚を擁する関東ブロック代表梅丘に対して、近畿ブロック代表長瀬がどう戦うかが注目となった一戦は、いきなり梅丘がアリウープを使うなどして次々と#5、#9が得点、ゴール下を完全に支配されたところで、開始2分、長瀬はタイムアウトをとる。その後オールコートDefで前からプレッシャーをかけて、なんとか対抗。Offでも#7のドライブや#8の外角シュートが決まり、1Qは梅丘19-13長瀬で終わる。2Q、梅丘は#5ゴール下に加え、#6の3Pシュート、#9ポストプレーも決まり、13点差になったところで長瀬2回目のタイムアウト。しかし、梅丘#5のインサイドだけでなくミドルシュートも決まり出し、梅丘37-19長瀬と梅丘が大差をつけて前半を終了する。

3Q立ち上がり長瀬は、1-2-2ゾーンDefでゴール下を固めるが、高さに勝る梅丘がリバウンドを支配し、#5、#9のゴール下の得点でリードを広げていく。長瀬も#4のフリースロー、#7のドライブで対抗するが、徐々に梅丘がリードを広げ、残り3分梅丘51-23長瀬。その後、守り合いが続く梅丘55-23長瀬で3Q終了。4Q長瀬はオールコートゾーンプレスでボールを奪うが、シュートが決まらない。残り4分、長瀬は#4のバスケットカウントからリズムをつかみ#7、#10の3Pを決めるが、梅丘も#13の3Pで応戦。結局メンバー全員出場で終始優位にゲームを進めた梅丘が25点差で勝利した。

【戦評記入者】

小村 城